

月刊原宿新聞

発行所 月刊原宿新聞社
本社/東京都渋谷区神宮前3-21-16
TEL03-3796-6865
FAX03-3796-6815
E-mail info@tltny.co.jp

区の見聞録
区の景観条例制定へ

23日、シシボ 協働型まちづくりを目指す

都市計画マスタープランの一案として協働型のまちづくりをめざした(仮称)渋谷区まちづくり景観条例のシンポジウムが二十三日午後時から、神南小学校体育館で開催された。
当日は「まちづくり条例の最近の動向」と題し、田丸重彦(東海大学大学院講師)が基調講演、この後、まちづくり景観条例の骨子が行政側から説明された後、最後にまちづくりの専門家によるパネルディスカッションが行われた。
パネラーは、井口典夫(青山学院大学経営学部教授、磯崎

夏にはホテル1万匹
ふれあい植物センターオープン
渋谷区ふれあい植物センターが十日がオープンした。
セレモニーには桑原市長など関係者約二百人が出席。このふれあいセンターは渋谷区にある全園への地元還元施設として、東
街に緑をとりいれる情報発信基地になることを願った。
オムロテック、テラカットなど関係者から出された。
同センターは渋谷清掃工場の地元還元施設として、東
二丁目目建設され、清掃場からの電気供給を受けて運営されている。
一階のグリーンガーデンは、せせらぎが流れ、四季折々の花・草・木を楽しめる空間。二階は園芸実習室、企画展示ホール、情報学習コーナー、映像ライブラリーの各施設。三階は五人程度が収容できる多目的ホールとなっている。目玉ははるの郷ほたるを育て、夏には約一万匹のホテルが孵化。園内を飛びまわり来場者を楽しませる。
十七日まではオープン記念として無料公開され、それ以降の入園料は一回四百円。就学児・区内在住の小中学生・六十歳以上の人は無料となる。
また、通常は展示しない木や花を展示する企画展を、年三回行う予定。
区民が日常の中で植物とふれあい、身近な緑化に参加できる、貴重な空間が誕生した。



せせらぎが流れ、四季折々の花・草・木を鑑賞しながら、緑と親しむ癒しの空間(センターリーフレットより)

初田中央大学法学部教授、窪田亜夫(工学院大学建築都市デザイン学助教授、松本昭国分寺市都市計画課長)が、同条例の骨子は「都市計画マスタープラン」に掲げられたまちづくりの目標と協働型のまちづくりが基本理念と。渋谷区は昨年同条例の「基本理念的な考え方」を策定、これまでに区内六カ所で「区民意見交換会」を開催、区民の意見を吸い上げてきた。今回

のシンポジウムは専門家と交える意見交換するもので、今年十月ごろにはまちづくり景観条例の制定、景観審議会を設置したい意向だ。
渋谷区には多数のまちづくり協議会が存在するが、地域のもちつくりと協働型のまちづくりを推進しているが、現状は任意団体。このため同条例を制定、渋谷区が正式に認定し、まちづくりを強力にサポートしていく考えだ。



設置されている災害用トイレ

都心ではじめて 全避難所に災害用トイレ

渋谷区では災害に強いまちづくりを目指し、平成十六年度から、災害時の避難生活の環境向上のため、災害用トイレの設置を行っている。
渋谷区の災害時の避難所は、区立小学校、区立中学校八、スポーツセンター等の施設が、全部で三十二カ所。現在、校庭整備や水道耐震補強工事を行った区

立小学校から順に整備を行い、三月末時点で十五校に設置完了。今年度は他に六カ所、十八年度には残りの全所に設置することを目標としている。二十三区内で、全所の避難所に災害用トイレを設置するのは渋谷区が初めて。
災害用トイレは、校庭の下に傾斜させたFRP製繊維強化プラスチックの管を二カ所に連結したマンホール五

基礎を埋め込み、災害時には校庭の人工芝を取り外してマンホール蓋を開け、和式便所として使用する。また、障害のある人や車イスを利用する人たちのために、マンホールの上に洋式便座を取り付けた専用トイレも設ける。便所の周囲にはアートを張り、プライバシーを保護。排せ物は、一定時間ごとに学校のプール等の水を利用してFRP製の管から下水道

本管に直接流入するので一人ひとりが使用するたびに排水する必要がない。多くの人がスムーズにトイレを使用できるように工夫している。
一月には関係者だけの設置訓練を行ったが、今月十七日の神宮前地区を皮切りに、地域住民に向けての設置訓練が、今年度十一カ所で行われる予定。

音楽でスリランカ復興支援
歌手の沢田さんら参加
神宮前でフェスティバル



がんばれスリランカチャリテイィミュージックフェスティバルが先月二十七日、神宮前小学校体育館で開催された。
同フェスティバルは、昨年末インドネシアのスマトラ島沖で地震が発生、津波がインド洋沿岸諸国を襲い、死者の数は約二十万人を超え、近代史上最大の自然災害となつた。同地区では先月八日大地震が襲い、大きな被害がでた。このためスリランカに思い入れや縁のある音楽家に支援を呼びかけたところ、「自らの音楽を通じてスリランカ復興再建の支援ができれば」と多くの賛同を得、開催されることとなった。
当日は、約二百人が参加。歌手の沢田知加子さん、スターンタ フォンセカ(シスター with Drops)、トランプの加藤みのるさん、フルートの長谷川誠さんが演奏した後、最後は「gift」を全員で合唱した。
集まった義援金は、スリランカ大使館「国際協力NGO」財団法人ケア・ジャパンなどに寄付された。
なお、同フェスティバルにあわせ、正活の木、原信孝参道店、隣では「生きるカース」リランカ津波被災の現場からと題する写真展が開催されている。二十五日まで。

Advertisement for '魚えん' (Uo-en) featuring a logo with the characters '魚' and 'えん', and contact information for the Aoyama store.

Advertisement for '新鮮な魚と美味しい酒' (Fresh fish and delicious sake) featuring the '昌' (Sho) logo and contact information for the Shinjuku store.

Advertisement for 'TOSHI CORPORATION' real estate services, listing contact information for sales and management.

英語教育重点が奏効

松濤 中学校 入学希望者は増加傾向

昨年から渋谷区の英語教育重点校に指定された松濤中学校(谷下賢校長、八十八人。今年度は八十人の応募)に対し八十一人の入学希望者があった。英語教育に力を入れた取り組みが評価された格好だ。

では初めての試みであった。重点校の狙いは、国際化・グローバル化に対応できる人材の育成。英語によるコミュニケーション能力の向上と日本の伝統や文化を理解し尊重する態度を養うことが柱だ。

英語の授業は週三時間とほかの公立校と同じだが、ほぼ毎日、総合の時間で十五分間英語を授業に活用。音楽、美術などの授業は英語でおこなわれている。ALTと呼ばれるネイティブスピーカーが指導にあたっている。目標は、全生徒が英検二級

同校は、一年生五十五人、二年生十六人、三年生六人、身障学級十一人の計八十八人。区内の中学校はいずれも定員割れの状況だが、特に松濤中は一学年十六人と危機的な状況が生まれたこともあって昨年からの英語教育重点校として総動員全国の公立校

取得、能力に応じて準級二級を目指す。日常的な英語で話そうようになること。最初はきこえなかった生徒たちも外国人講師のフランクさも手伝って少しずつ意見がでるようになってきた。また登校時間には英語のBGMを流すほか、竹下校長は朝礼で英語のスピーチ、さらに運動会では生徒会自ら英語で司会をするなど積極的な環境づくりに取り組んでいる。

「子どもが英語でコミュニケーションがとれるようになつてきました。将来的には英語でディベートができるようになる」と校長は熱心に指導する外国人講師



熱心に指導する外国人講師

駅に駐輪場を設置して 原宿表参道樺会 桑原区長らに要望書を提出

南有楽町線組合(原宿表参道樺会)は、違法駐輪対策として原宿地区の九町会、九南店会との連名で、地下鉄三ノ宮線建設に伴い、(仮称)明治神宮前駅入口に駐輪場を設置するよう要望書を提出した。提出先は、桑原敏武渋谷区

長、石原慎太郎東京都知事、梅崎重太郎区長、住宅、店舗、飲食店などが混在する原宿地区は来街者も多く、それに伴い自転車の違法駐輪や、自転車の歩道への放置等悩みの種だ。同会は、原宿で働く人たちへは自社の駐輪場に置くか、電車通勤を呼びかけている。要望書では、建設計画当初から地域住民の強い要望として工事にも協力してきたと、地下鉄を利用する人達を始めとして自転車は、もはや生活の一部であり地下鉄工事で掘削した掘削を埋め戻すことなく駐輪場として活用することは効果的、当初の約束事項でもあるので実施をお願いしたい」としている。

あの人 入江 洋子氏

「渋谷の遊び場を考える会」代表



「泥んこになって遊ぶことが大切」

昨年七月、区立代々木公園にオープンした渋谷区初の冒険遊び場『渋谷はるのおがわプレーパーク』。ただの公園だったこの場所を、子どもたちが泥んこになって自由に遊ぶ場所に変えたのは、地元のお母さんたちの

「渋谷の子どもにも本当の遊び場を」という願いがあった。入江洋子氏は『渋谷はるのおがわプレーパーク』を運営する『渋谷の遊び場を考える会』の代表。一男二女の母でもある。

入江さんがこの活動を起すきっかけは、自らの子育てにあった。四人目の子どもを出産する際、上の子どもたちを美家の長野に預け、山の公園調査やプレーパークの勉強会を重ね、スポーツセンター横の『せせらぎ冒険遊び場』を経て、『渋谷はるのおがわプレーパーク』の常設に至った。

特定の地域の子どものみだけが恩恵を受けるのではなく、誰もが楽しめる場を。『せせらぎ冒険遊び場』を経て、『渋谷はるのおがわプレーパーク』の常設に。文化や文明だけが未来をつくるのではなく、未来をつくるのは子ども。そう思えなくなってしまう。きつと国は疲弊していく。自らをふつうのお母さんだとう入江さんは、自分たちがやってきたこの活動を、次の世代のふつうのお母さんたちにも、しっかりと伝えていきたいと思っている。

「渋谷の子どもにも本当の遊び場を」という願いがあった。入江洋子氏は『渋谷はるのおがわプレーパーク』を運営する『渋谷の遊び場を考える会』の代表。一男二女の母でもある。

入江さんがこの活動を起すきっかけは、自らの子育てにあった。四人目の子どもを出産する際、上の子どもたちを美家の長野に預け、山の公園調査やプレーパークの勉強会を重ね、スポーツセンター横の『せせらぎ冒険遊び場』を経て、『渋谷はるのおがわプレーパーク』の常設に至った。

特定の地域の子どものみだけが恩恵を受けるのではなく、誰もが楽しめる場を。『せせらぎ冒険遊び場』を経て、『渋谷はるのおがわプレーパーク』の常設に。文化や文明だけが未来をつくるのではなく、未来をつくるのは子ども。そう思えなくなってしまう。きつと国は疲弊していく。自らをふつうのお母さんだとう入江さんは、自分たちがやってきたこの活動を、次の世代のふつうのお母さんたちにも、しっかりと伝えていきたいと思っている。

明治公園催し物情報 (広場にて)

- ▽二十三 日 フリーマーケット 十時～十六時(環境を考慮する市民の会、TEL03-5610-4305)▽二十四 日 フリーマーケット 十時～十六時(東京リサイクル運動市民の会、TEL03-3384-8636)▽二十五 日 フリーマーケット 十時～十六時(オタカラネット、TEL03-5440-1500)



American Business Creation, Inc.
代表取締役社長 長谷 善幸
〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5 NOAビル15階
Tel:03-3560-7548 Fax:03-3560-7583

経営者の皆様を取り巻く
経営上の問題に的確に対応する
身近なパートナーです。
皆様に役立つ
質の高いサービスの提供を追及します。
税理士法人アイ・タックス
代表社員 税理士
森脇 仁子
東京事務所
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-11
Park Axis明治神宮前701号
Tel:03-5410-7533 Fax:03-5410-7583
e-mail:moriwaki-hitoko@tkcnf.or.jp
URL:http://www.kaikeizin.ne.jp

ファッション販売のディック
婦人服・雑貨 販売スタッフ募集
株式会社 ディック
厚生労働大臣許可 販売の職業紹介業
東京都渋谷区代々木1-55-14 セントヒルズ代々木803
Tel:03-3378-8718 Fax:03-3379-4015
E-mail:dick@m2.pbc.ne.jp